

inkumi 広島

VOL.390
平成31年2月

発行／広島県印刷工業組合

発行人／中本 俊之

広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954

URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp

「人が集まり笑顔をつなぐ幸せ産業へ」



平成 31 年新年互礼会

年頭の挨拶

広島県印刷工業組合

理事長 中本 俊之

来賓挨拶

自由民主党 政務調査会長 衆議院議員 岸田 文雄 様

中国経済産業局 局長 花木 出 様

広島県知事 湯崎 英彦 様

広島市長 松井 一 實 様

第 46 回 備後印刷産業新年互礼会

第 40 回 呉支部新年互礼会

第 7 回 夢メッセ三役会議

第 3 回 支部長会議

事務局だより ●組合の動き

「広島城 別名 鯉城」(広島市中区基町)

広島町の原点、それは広島城にあると言っても過言ではありません。現在の広島市中区基町に築かれた安土桃山時代から江戸時代の日本の城、国の史跡に指定されています。毛利輝元が太田川河口のデルタ地帯に築いた平城で、1945年(昭和20年)まで天守を始めとする城郭建築が現存し点在していましたが、太平洋戦争末期にアメリカ軍の原子爆弾投下によって倒壊し、現在見られる城内の天守以下城郭建築はすべて1958年以降に再建されたものです。広島は、近世城下町として発展した典型的な都市です。八丁堀、薬研堀、幟町、鉄砲町、紙屋町、袋町など、城下町としてにぎわっていたころの町名がそのまま残されています。

平成31年 新年互礼会

広島県印刷工業組合主催・印刷関連団体共催による平成31年新年互礼会が「人が集まり笑顔をつなぐ幸せ産業へ」をスローガンに1月7日(月)午後6時からリーガロイヤルホテル広島で、ご来賓、組合員、関係団体より約255名が出席し盛大に開催された。

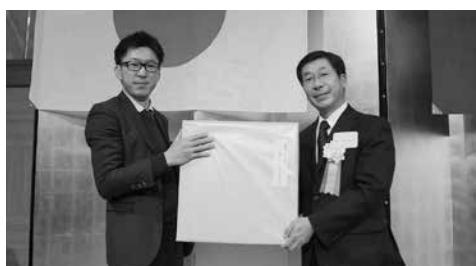
司会はおなじみの明るく爽やか、そして絶妙なトークの北山美砂子さん。まず参加者全員の国歌「君が代」斉唱で開会した。

はじめに、広島県印刷工業組合中本俊之理事長より新年のあいさつ。つづいて、来賓を代表して自由民主党政務調査会長 衆議院議員 岸田文雄様代理 細川清貴様、中国経済産業局長 花木出様代理 向井裕様、広島県知事 湯崎英彦様、広島市長 松井一實様から祝辞をいただいた。そして、来賓11名紹介の後、広島県議会議長(広島県印刷工業組合顧問) 山木靖雄様に乾杯のご発声をいただき、祝宴開始。



宴たけなわのころ、恒例の福引が担当の県工組青年部メンバーの進行により賑やかに行われた。壇上で塩本一平氏、北山司会者により抽選を行い、賞品受け渡しは青年部がズラリと勢揃い。来場者は番号を呼ばれると、満面の笑顔で賞品をいただいた。今年の幸運くじの特等賞 ザイグルプラス(煙の出ない焼肉器)は中本理事長が抽選引きを行い、(株)三丸シール印刷の須寄竜二社長に当たった。須寄社長は、「今から料理の勉強をします」と喜びを語られた。

最後は、広島県洋紙商連合会会長 小島健友様が、「今年も参加者の皆さまに幸多かれと願いまして、三本締めをさせていただきます」と挨拶され互礼会は幕を閉じた。



 株式会社 文化社

代表取締役 重本 正哉

〒733-0833
広島市西区商工センター 7-5-56
TEL (082) 277-2661
FAX (082) 501-0268

あらゆる印刷は……
 hanada printing

有限会社 花田印刷所

〒730-0825 広島市中区光南 6 丁目 2 番 6 号
TEL (082) 243-2062(代)
FAX (082) 504-0671

年頭の挨拶

「人が集まり笑顔をつなぐ幸せ産業へ」

広島県印刷工業組合

理事長 中本 俊之



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられましたこと、心からお喜びを申し上げます。

さて、2012 年から拡大が続いております国内景気は、この 1 月で戦後最長を更新するそうです。しかしながら、アメリカや中国などの貿易摩擦問題、世界経済の減速、そして、この秋に予定されています消費税率の引き上げなど、デフレ脱却の道は厳しいものがありますが、新しい元号となります今年こそ、印刷業界を中心に大きな経済効果がもたらされることを期待したいものです。

また、去年は西日本豪雨災害があり、助け合うことの大切さを改めて痛感した 1 年でもありました。広島県工組としても、単独では難しい、しかし連携することで前に進められる仕組みを構築していかなければなりません。組合員に対して、強力にサポートができていくかどうかを常に確認をしながら、前に進んでいきたいと思っております。

さて、今年のテーマは「人が集まり笑顔をつなぐ幸せ産業へ」と掲げさせていただきました。お客様や地域の人々に信頼され、慕われて人が集まってくる、そして夢を持っていきいきと働く人、または働きたい人が集う、そういう思いを込めて今回のテーマを作ってみました。広島を元気にするために何ができるか、何をすべきかを今一度見つめ直し、行動する 1 年にしたいと思っております。

さて、最近ニュースや報道でよく耳にいたします「働き方改革」。これはもうすでに多くの企業が取り組んでおられることだと思います。この「働き方改革」とは何のための改革なのでしょう。それは、働き手と雇用する側双方が幸せになるための改革と言われております。上下関係に関わらず、意見の言いやすい関係、日頃から雑談ができる、そういった人間関係を築くことが大切と思っております。

例えば、「昨日のカープの逆転劇は最高でしたね」「よし、じゃあ今日は勝利を祝して一杯行こう」とか、「おいしいお店を見つけたので今度行きませんか」「じゃあ、みんなを誘って行ってみよう」。このような会話が飛び

交う風通しの良い職場であれば、きっと素晴らしいチームワークが築けるでしょうし、何か問題が起こったとしても、事前に吸い上げてすぐに対応ができることだと思います。

「働き方改革」とは、働く人の幸せと企業の存続、成長であります。働く側と雇用する側双方にとって、持続的な幸せを見据えた改革こそが、幸せな働き方改革と言えるのではないのでしょうか。

次に、印刷業界の環境対応です。これまで ISO14001 認証、古紙リサイクル対応、そして、グリーンプリンティング認定制度などで環境経営を推進してきました。さらに最近では、国連が 2015 年に SDGs を採択したことにより、新しい消費者コードが生まれました。「持続可能な開発目標」と訳されるこの SDGs は、2030 年をめどに達成すべき 17 の開発と、環境に関する世界目標です。最近の印刷業界に関して言えば、プラスチックの代替材料があげられます。我々中小企業もこの SDGs を理解して、社会的課題を解決する印刷物、例えば、FSC®森林認証紙であったり、ユニバーサルデザインなどで新たなビジネスチャンスを獲得しようではありませんか。

今年も、15 回目となります印刷産業夢メッセを 10 月に開催する予定です。昨年から会場を広島ガーデンパレスに移し、お陰様で盛況に終わり今年につなぐことができました。より一層有意義な夢メッセにするよう、精一杯取り組んでまいります。さらに、来る 2022 年には、全日本印刷文化典全国大会が広島で開催されることが決定いたしました。皆様に印刷の可能性を感じていただける、素晴らしい機会をお届けできるよう取り組んでまいります。あわせてご協力のほど、よろしくお願いいたします。

輝かしい 2019 年を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



地域に根ざした 組織づくりに感謝!!

自由民主党 政務調査会長 衆議院議員

岸田 文雄 様

代理：細川 清貴 様



皆さん、明けましておめでとうございます。ご紹介いただきました、岸田事務所細川と申します。

本日の新年互礼会、ご案内を頂戴しましたが、岸田文雄公務のため出席が叶いません。メッセージを預かって参っておりますので、代読させていただきます。

「平成 31 年の年頭にあたり、謹んで新年のお祝いを申し上げますとともに、広島県印刷工業組合新年互礼会が盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

広島県印刷工業組合は、昭和 15 年に前身である広島活版印刷工業組合として設立されて以来改組を繰り返しながら、昭和 33 年に創立されました。地元で根ざした組織として広島中小印刷企業の育成・擁護に長年にわた

り尽力されておりますことに対しまして、歴代の役員・関係者の方々に深く敬意と感謝を表します。

今年の 4 月には統一地方選挙、地元広島でも、広島市長選挙、広島県議会、市議会議員選挙が行われます。そして 5 月には平成の終わりを告げ、新天皇のもと、新しい時代を迎えます。7 月には、参議院選挙が控えております。私も自民党政務調査会長として、多くの諸課題に全力で取り組み、景気回復の実感を業界の皆様にも実感していただけるように努力を重ねてまいりたいと存じます。

本年が実り多き年となり、中本理事長のもと、広島県印刷工業組合のさらなるご発展と、ご参会の印刷関連業界の皆様方のご健勝・ご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます」

自由民主党政務調査会長岸田文雄。

代読させていただきました。本日は、誠におめでとうございます。

社会的変革に経済産業省も 積極的に施策展開を!!

中国経済産業局 局長

花木 出 様

代理：向井 裕 様



皆様、明けましておめでとうございます。

まずはじめに、昨年 7 月の西日本豪雨災害で犠牲になられました方々、また、被害を受けられた方々に、心からご冥福とお見舞いを申し上げます。我々として、引き続き被災された事業者の皆様のお力になれるよう、現場の声をよく聞き、全力でご支援に取り組んでまいります。

さて、我が国の経済ですが緩やかな回復基調が続いており、景気拡大局面は戦後最大になるのではと言われております。中国地域におきましても、生産、消費ともに豪雨災害の影響が薄らぎ、持ち直しの動きが続いております。

他方、最近特にここ数年ですが、AI や IoT 技術の普及が目覚ましく、それに伴いましてビジネスモデルが大きく変化しております。こうした変革に加えて、少子高齢化といった人口構造、働き方への意識、国際的な経済摩擦や環境問題といった社会的変革も大きなものとなっております。こうした変革に対応するため、経済産業省では積極的に施策展開をしております。特に、経営者の高齢化や人材不足といった課題に直面しております中小企業、小規模事業者の皆様が持続的に発展できるよう、事業承継により新陳代謝、労働生産性の向上、働き方改革、自然災害への対応といった分野に重点的に取り組む所存です。

我々、中国経済産業局におきましても、これら重点的な取り組みの他、地域産業の競争力強化、観光、スポーツ関連産業を含みます、新たな産業の創出に推進してまいります。さらに、今年 10 月に予定されております消費税率の引き上げ、軽減税率制度の実施に際しまして、相談窓口の設置や周知、広報などを行い、円滑な対応を後押ししたいと思っております。

地域経済、ひいては日本の活力の源泉は、地域で活躍されている皆様方です。とりわけ、印刷産業は歴史ある産業であります。デジタル化が進んだ現代におきましても、人々の情報伝達手段として重要な役割を果たしております。顧客の視点に立ち、常にニーズを敏感に察知しながら時代の要請に対応した進化を遂げてこられたことは、申し上げるまでもございません。中国経済産業局としましても、技術、知恵、伝統を活かして、勇気を持ってチャレンジされる皆様方の取り組みを全力でご支援させていただきたいと思っております。

本年 5 月には新たな元号に改元され、こうした節目の年であります本年が、皆様方にとって大きな飛躍の年となるよう心から祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。本日は、誠におめでとうございます。



ピンチをチャンスに変えること!!

広島県知事

湯崎 英彦 様



皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年7月の豪雨災害におきましては、被災された方々への義援金、大変ご協力をいただきました。心から御礼を申し上げたいと思います。また、関連企業の中には、被災された企業の方もいらっしゃると思います。県としても、国と連携をしながらさまざまな支援策を講じているところで、是非、さまざまな制度をご活用いただいて、復興・復旧を図っていただきたいと思っております。

昨年のこの豪雨被害、豪雨災害は大変甚大なものでございました。今年、この災害の被害からしっかりと復旧を果たしていかなければならない。それも復旧ということだけではなくて、元に戻るというだけではなくて、そこからさらに一歩進んで、まさに復興、「創造的復興」と我々は呼んでおりますけれども、被災前よりさらに良い状態にしていかなければならないと考えております。そのためには、この災害対応のいわゆる復旧、復興事業のみならず、地域経済の新たな発展に向けて未来に挑戦

し続ける企業、こういった企業がイノベーションを持続的に起こしていくことができるような基盤強化であるとか、あるいは、そういったものを支える前提としてのインフラの強靱化などを進めてまいりたいと考えております。印刷業界においても、さまざまなチャレンジに直面をされておられます。広島県では、この「創造的復興」にあたりまして、ピンチをチャンスに変えていくという視点で臨んでいこうと考えております。

ちなみに、全く話は変わりますが、どうも丸選手の人的補償が、あの長野がカープに来ることになりました。これも、ピンチをチャンスに変えることができるかもしれないなと思っております。

皆様方には是非、メディアプロフェッショナルとして、これまで培われてこられた技術、あるいは強みを活かしてこの新たな価値を創出し、我々が直面しております広島のこのピンチをチャンスに変える一助となっていたいただければと思っております。

新年の門出にあたりまして、広島県印刷工業組合、また関連団体のますますのご発展と、本日ご出席の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のお祝いのご挨拶と代えさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。

広い視野でさまざまな取り組みを進めていく

広島市長

松井 一 實 様



皆様、明けましておめでとうございます。

今年、元号が変わるという年であります。多くの印刷物が印刷され、印刷業界に大きな経済効果が期待できる年になろうかと思えます。さらには、来年東京オリンピック・パラリンピック、そして本市広島市は、被爆75周年等々、さらに、広島市が都市像を掲げまして、国際平和文化都市になろうという誓いを立ててちょうど50年になるという、そんな年を控えておりまして、こういったことを上手く達成するために、亥年であります、威勢よく駆け抜けていくことができる年になればなと思っております。そして、それを実現していくためには、個々の政策をしっかり積み上げることも重要でありますし、先ほど知事もお話がありました、昨年の災いを乗り越えて、これを幸福ですね、災いを転じて福と為すといった取り組み、ピンチをチャンスに変えるという発想でしっかり取り組むことも欠かせません。

広い視野でさまざまな取り組みを進めていくといったことが求められます。ありていに言えば、製品の差別化など、あるいは付加価値を増すといったことにもつながっていくわけで、こういった工夫を今まで以上にやる。そのための高度な印刷技術を皆様方は習得され、それを駆使するというのが、しっかりとできあがる年になればなという思いであります。いずれにしても、今申し上げたようなことを、まとめて業界全体として盛り上げていく、そんなことができる年になるよう、引き続き皆様方とともに、共助の世界と言いますか、やってくということをお願い申し上げたいと思っております。

終わりに、あらためまして、広島県印刷工業組合の今後ますますのご発展と、本日ご出席の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。



第46回 備後印刷産業 新年互礼会

第46回備後印刷産業新年互礼会を1月10日(木)午後6時から福山ニューキャッスルホテルにおいて開催。広島県工組から中本理事長、中川副理事長、西村事務局長のご出席を賜り、期待のかかる年明けの中、昨年を上回る100名が出席、盛大な会となりました。

林実行委員長開会あいさつに続き、浅田福山支部長挨拶、県工組中本理事長様からの来賓のご祝辞、日本グラフィックサービス工業会広島県支部山本支部長様にはお祝いのメッセージを頂き、市川府中支部長の乾杯の発声を合図に祝宴の幕を開けました。

和やかな雰囲気の中、あちらこちらで名刺交換や歓談があり、その盛り上がりの中、アトラクションとして何十年前を思い出させるグループサウンズの演奏が始まった。皆の手拍子の中、2曲目には細川副理事長がサクソホーンをもって登場、わずか3か月前にサクソホーンを購入し練習をしてこの演奏に備えたいらしい。演奏は見事なもので皆さんから拍手喝采でした。そして恒例の新年を占うビンゴゲームで、商品券、お食事券、カープグッズ、最近はやりのドローン等たくさんの商品を皆さんいただいて笑顔の会場でした。

宴の終わりは藤井福山軽印刷組合理事長の三本締めで互礼会を閉会することが出来ました。

最後に、厳しい情勢の中今回もご協賛いただきました各社様にはこの場を借りまして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。(実行委員長 小田)



【浅田英史福山支部長挨拶】

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、素晴らしい年の初めをお迎えになられたこと、お喜び申し上げます。また、今年の新年限りにこのように多くの方々にお集まりいただいたこと、心より厚く御礼申し上げます。実行委員長を中心に陰ながら支えて下さったスタッフ一同にも、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

時代は、昭和から平成へ、そしてまた、新たな時代を迎えようとしています。この間、印刷業界も大きく変化し、活版印刷からオフセット印刷へ、また、アナログ製版からDTPへと技術も環境も大きく様変わりしてきました。現在まで、その波に飲み込まれることなく進化し続けてきましたが、デジタル社会での環境変化の流れは急速で、個の力で乗り越えていくには限界があるように思われます。

これからの時代を生き残るために何が必要でしょうか。個の時代から、お互いの個性を活かした仲間づくりを中心とした新しい流れを創り出し、印刷産業自体が社会から必要とされる産業であり続けることこそが、業界が生き残るためにも必要な時代ではないかと思えます。

「人が集まり笑顔をつなぐしあわせ産業へ」という未来づくりを合言葉に、単なる製造業から価値ある情報伝達産業への進化が必要な年になるように思えます。ここには、志を同じくした仲間がたくさんいます。知恵を出し、汗をかき、お互いの良さを相互活用できるネットワークを構築し、印刷業を新しい時代の変化に対応していける存在意義のある情報伝達産業にしていきたいと思います。

短い時間ではありますが、大いに本音で語り合い、新たな年の初めにふさわしい、楽しく有意義なひと時となりますよう祈念し、開会のご挨拶とさせていただきます。



OFFSET & SCREEN PRESSES

Sakurai

株式会社 桜井 グラフィック システムズ

本社
東京都江東区福住2-2-9 〒135-0032 TEL (03)3643-1131
大阪営業所
大阪市淀川区木川東3-1-31 〒532-0012 TEL (06)6308-6651
中部営業所
岐阜県美濃市3951 〒501-3733 TEL (0575)35-2551
九州営業所
福岡市中央区天神5-5-8 〒810-0001 TEL (092)741-2672

UI UCHIDA TECHNO



ISO14001
ISO 9001 認証取得企業

株式会社 ウチダテクノ
(株)内田洋行グループ企業

紙枚数計数機

**カウントロン
AT-twin** NEW

めくりクセがつかない計数機に
ダブルヘッド型が新登場

用紙端2ヶ所の同時計数により
精度向上と時間短縮を実現

〒116-0011 東京都荒川区西尾久4-25-3 ☎03(5901)2171
〒540-8520 大阪府中央区東2-2-2 ☎06(6920)2460
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-20 ☎052(220)5270
〒060-0041 札幌市中央区大通り東3-1 ☎011(241)2825
〒816-0053 福岡市博多区東平尾1-18-54 ☎092(624)9988

www.utecs.co.jp

070606

第40回 呉支部 新年互礼会

1月11日(金) 18:30より呉阪急ホテルに於いて第40回呉支部新年互礼会及び呉支部設立40周年記念式典を盛大に開催いたしました。新原呉市長、広島県工組より中本理事長、中川副理事長、青木常任理事また関連業者を代表して泉紙業㈱の泉様をご来賓としてお招きし、昨年より10名以上多い総勢60名で式典は始まりました。司会は今年も広島のテレビ各局でリポーターをされている呉市在住の勝さんをお願い。元気な声で最初から引き込まれていきます。

高山支部長の挨拶から始まり、中本理事長に祝辞をいただき、泉紙業㈱泉様の乾杯のご発声で始まった宴は、今年はアトラクションとして山口県周南市の「喜助マジックショー」が開催され、鮮やかな手つきに皆さん思わず引き込まれ固唾を飲んで見入っておられました。その途中に公務でお忙しい中、新原呉市長がお見えになりご祝辞をいただきました。そして、マジックショーが再び開催され、テーブルに来て間近に見ても種は分からず拍手喝采で会場は大いに盛り上がりしました。

宴たけなわの頃、呉支部恒例の抽選会を松広印刷㈱社長の松広さんが仕切り、呉阪急ホテルさんにご協賛頂いた食事券や、各種商品券を賞品として合計20名の方に当たる確率の高い抽選会ですが、最後の1等は㈱ユニックスの田村さんに当たり、「今年は縁起が良いです、うれしいです。」と挨拶をされ抽選会が締めくくられました。

最後は㈱ユニックス社長の宇都宮さんに「今年も良い年にしましょう」と締めさせていただき、とても充実した新年互礼会を終えることができました。ご出席頂きました皆様誠にありがとうございました。(当田)



【高山順子呉支部長挨拶】

新年明けましておめでとうございます。



本年は広島県印刷工業組合 呉支部が発足して40年になります。平成31年「新年互礼会」と併せて記念式典を開催させて頂くことになりました。

新年早々、60名あまりの皆様と一緒に、開催させて頂けることは、誠に嬉しいことと存じます。

さて、昨年呉市は西日本豪雨のため、一時は陸の孤島となりました。私も長らく生きておりますが、初めての経験でございます。

呉市内では一週間断水となり、工場用水・生活用水で大変苦勞をいたしました。その際にはいろいろな方々に援助を頂き、誠に世話になりました。改めてお礼を申し上げます。

今年は平成が終わり、新しい年号に代わる年であり。昨年のような災害がなく、新しい風が入り輝かしい年になればと切に願っております。

新しい風と申しましたが、紙の値上げという不穏な風は年明けから吹いております。メーカー要望の約25パーセント値上げが決定し、これからどう乗り越えていくか皆様考慮されているところかと存じます。印刷業界においては大変厳しい年になると思います。

それに加え、今秋の消費税アップ、働き方改革関連法案における労働時間・有給規定の変更と、解決すべき事項は山積みです。

このような苦しい状況であればあるほど、一社だけでなく、業界で密な連携を取り、5年後、10年後の先を見越し、業界全体で生き残る道を探っていくべきではないでしょうか。そのことが会社を、社員を守り、働きやすい環境を作っていくことになると思います。

今年の広島県印刷工業組合のテーマは「人が集まり笑顔をつなぐ幸せ産業へ」になります。夢メッセは例年通り10月に開催の予定です。皆様方、多数のご出席を頂けることを願っています。

最後に、皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

断裁機と オートカッティングシステム



株式会社 **勝田製作所**

本社 〒536-0014 大阪市城東区鳴野西3-3-43
TEL 06-6961-3945

勝田機械販売 135-0041 東京都江東区冬木21-4(冬木ビル4F) ☎ 03-5245-1555
名古屋営業所 〒452-0845 愛知県名古屋市中区中津38 グランドハイム301 ☎ 052-502-5282
福岡営業所 〒811-1255 福岡県筑紫郡那珂川町恵子1-17 KAZUビル402 ☎ 092-952-7111
四国営業所 〒760-0080 高松市木太町37001 ☎ 0878-37-1833

たゆまぬ研究と品質管理で
お客様のニーズにお応えします。

各種印刷用ゴムローラー・諸資材

株式会社 **加賀ローラー製作所**

岡山営業所 〒701-1144 岡山市北区栢谷1632-1
TEL 086-294-9360 FAX 086-294-1881
本社 〒544-0005 大阪市生野区中川五丁目3-13
TEL 06-6751-1121(代) FAX 06-6754-4400

【2018印刷産業夢メッセ集約会議】

11月20日(木)午前11時30分から、広島印刷会館会議室に於いて、2018印刷産業夢メッセ集約会議を、役員16名が出席し開催された。

始めに中本実行委員長より「今日は集約会議と題しまして開催しましたが、何時もでしたら関連業者様をお呼びして懇親会を開催しておりましたが、もうそれは止めようということでこのような会議になりました。皆様には一応の結果等が出ましたので、アンケートや状況を報告しようということで企画いたしました。皆さまのお蔭をもちまして第14回の夢メッセも滞りなく終わることができました。いろいろな課題は来年に活かしたいと思います。今後とも相変わらずのご協力をよろしくお願いします」と挨拶があり始まった。

議題

1. 2018印刷産業夢メッセの実施結果について
2. 企画運営等の反省点について
3. 2019印刷産業夢メッセの開催(案)について
4. その他

【支部長会議】

第3回 支部長会議開催

12月20日(木)12時40分より、広島印刷会館会議室で第3回支部長会議が開催された。

始めに、石井組織共済委員長より「今年から夢メッセの会場は変わりましたが、皆様のご協力で盛会に終わりました。あらためてお礼申しあげます。今日は反省も含めまして2019年の開催に向けてご検討等をお願いします」と挨拶があり議題に入った。

【議題】

- (1) 2018印刷産業夢メッセ総括について
- (2) 全印工連会長 臼田 真人氏 基調講演の資料配布
戸谷氏の基調講演も参考に添付
- (3) 平成30年度各支部における支部会等開催状況
- (4) その他



事務局だより

◎組合のうごき

1月	7日	県工組新年互礼会	リーガロイヤルホテル広島
	10日	備後印刷産業新年互礼会	福山ニューキャッスルホテル
	11日	呉支部新年互礼会	呉阪急ホテル
	18日	備北支部新年互礼会	三次市
	19日	製本工業組合新年互礼会	センチュリー21
	20日	DTP技能検定	コンピュータ専門学園

2月	1日	経営革新マーケティング委員会	東京
	6日	PAGE2019開催(8日まで)	サンシャインシティ
	8日	全青協正副議長会	東京
	9日	全青協全国協議会	東京
	15日	中国地区印刷協議会(下期)	岡山
	20日	2019夢メッセ第1回三役会議	印刷会館
	27日	第6回常任・第6回拡大理事会 働き方改革を実現するセミナー 常設委員会合同開催	印刷会館

新年互礼会(1月7日)に大勢の皆さまにご出席いただきましたことありがとうございました。



私達は誠意、熱意、創意をもち社会への貢献を実践いたします。

作田洋紙株式会社

本社 〒720-0802 福山市松浜町3丁目8番9号
TEL (084) 923-4351
FAX (084) 931-2509
尾道支店 〒722-0051 尾道市東尾道10番34号
TEL (0848) 20-2281
FAX (0848) 20-2284